

## 第3次プラン（素々案）に対するご意見等について

10月28日の第3回松本市多文化共生推進協議会でのご意見をまとめ、反映した内容等について、報告するものです。

## 1 意見の区分

区分	内容
ア 反映する意見	意見の内容を反映し、案を修正したもの
イ 参考にする意見	案を修正しないが、施策等の実施段階で参考とするもの、または検討の結果、反映が難しいもの

## 2 意見の概要

## 【第1～3章】

No.	意見の概要	区分	素案
1	コロナ禍の社会の中で、多文化共生をどう意識していくのか、という視点を取り入れた内容も記載したほうがいい。	反映	P1, 8, 11
2	松本市多文化共生プラザの現状だけでなく、松本市子ども日本語教育センターの現状についても、記載すべき。	反映	P6
3	基本目標3, 4に「外国人住民」という表現を用いているが、「定着を目指す」という観点で、外国人のためだけのプランという点を強調しないためにも、「外国人住民」という表現を外してはどうか。	反映	P12, 14

## 【第4章】

4	・部署を限って、翻訳機の導入を検討してほしい。 ・テレビ会議システムを用いれば、遠隔での通訳や説明会などへの参加も可能になる。いろんな場面で、一つの手法として、活用を検討してほしい。	反映	P16 No. 5
5	外国人住民が行きつけのお店で情報を得られるよう、外国料理店のネットワーク化を図るのはどうか。	参考	P17No. 13 P19No. 22
6	県内との連携も重要だが、県外との意見・情報交換もやってはどうか。	参考	P18 1-3-2
7	「多文化共生プラザの相談事例の発信」について、市ホームページだけでなく、多言語でSNSでの発信をするのは可能か。	反映	P19 No. 23
8	「放課後児童健全育成事業」を知らない保護者も多い。学校の説明会などで本事業の説明をする際、通訳の活用などをするのはどうか。 また、外国人の利用者が来た時などに、通訳を利用できる仕組みを考えてほしい。	一部 反映 済み	P22 No. 35

9	<ul style="list-style-type: none"> <li>・入学・進学前ガイダンスでの説明内容を動画（やさしい日本語）で作成してはどうか。</li> <li>・企業説明会なども、動画配信が主流になっているが、一つの手法として、非常に有効。</li> </ul>	反映	P22 No. 38
10	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「定住」という視点でいくと、就労をどうするのか、というのが重要になる。現状の取組みでは、ハローワークを中心とした職業紹介という普通の動きしか期待できない。インフォーマルな観点で、外国人採用実績のある企業とのネットワークの活用を図るという取組みを実施してはどうか。</li> <li>・ネットワークは、企業からすると、メリットをしっかりと作りながら、お互いにとっていい形を作っていくのが大事になる。</li> </ul>	参考	P17No. 13 P31No. 90
11	<p>ゲームをとおし異文化コミュニケーションについて学ぶなど、「楽しい」という視点での発信、イベントの企画は重要。</p>	反映	P19No. 24 P37No. 116